

## トピックス

- ★第7回講義：社会人基礎力をつけよう！
- ★第8回講義：企業の研究所に広がる可能性
- ★長期インターンシップの中国語パンフレット

国立大学法人  
東京海洋大学・キャリア開発室  
電話：03-5463-0575  
Email：career@m.kaiyodai.ac.jp  
http://www.kaiyodaicareer.com/

※このNewsletterは、東京海洋大学キャリア開発室が作成・配信しています。キャリア開発に関するイベントのお知らせや活動報告等をお届けしています。

## 第7回高度専門キャリア形成論

### キャリアデザイン講座・第3弾！

平成26年10月23日(木) 16:20~17:50 於 品川キャンパス白鷹館2F

詳細はHPで

「社会人基礎力をつけよう！」塩谷和美 特任教授（キャリア開発室）  
～ ①前に踏み出す力、②考え抜く力、③チームで働く力～

#### 就活は既に始まっていることを知って欲しい

企業は、社会人基礎力をつけて社会に出ることを期待している。また、就活時期が後倒しになり、インターンシップや企業説明会に力を入れており、リクルーターも復活している。

#### 『どんな強みを発揮して社会で活躍したいか』等がグループワークで話し合われました

面接では、自分の強みについて聞かれることがある。2分程度で発表できるように、あらかじめ考えておくことが必要だ。

皆さんは、既に基礎学力とITスキルは十分であり、専門知識にも取り組んでいる。しかし、基本的な『人間性、生活習慣』も重要だ。これは、部署が変わっても、また転職しても通用する。また、社会人基礎力のなかでも特に、『考え抜く力』と『やり抜く力』は重要だ。

#### 社会人基礎力の12要素を自己採点し、レーダーチャートにするワークが実施されました

#### 世代別キャリアデザインのテーマとは…

20代は、主体性をもって仕事に取り組み、仕事を覚える年代である。30代は、自分の得意な分野で、自己責任とリーダーシップを発揮しなければならない。そして、どの分野でプロになるのかを模索しなければならない年代でもある。先を見ながら、能力開発に取り組むことが大事だ。

#### 身に付けるべき能力水準には、企業と学生の間意識のギャップがある

企業は、広く考えて様々な解決策を提示できる人を求めており、成長願望を持って入社してほしい。

#### 『求められること、やりたいこと、できること』の三つの輪が重なったところ

就職をするなら、東日本大震災の復興や2020年の東京オリンピックを控えている今がチャンス。自分の成長願望が叶えられそうな会社を選ぶことが大事だ。自分の強みを活かして売り込み、夢と情熱を持って、最後までやり抜く執念で就活に臨んでほしい。

#### 質問等があれば、どんな小さなことでも相談に来てほしい

インターンシップを利用して、企業で働く体験をするのも良い。長期インターンシップ制度では、PD8人、DC4人の実績があり、そのうちPD4人はインターンシップ受入先の会社に就職した。

最後に、今後の授業の予定を紹介して、本日の講義が締め括られました。



## 第8回高度専門キャリア形成論

### 『企業の研究所に広がる可能性』

詳細はHPで

平成26年11月20日(木) 16:20~17:50 於 品川キャンパス楽水会館1F

#### ～夢を持って社会に出よう～

河口友美氏 日本ハム株式会社 中央研究所・研究員（農学博士）

#### 海洋大での生活について

学部時代は、やりたいことを次々と実現し、スパイクで授業に出席するような学生生活だった。修士課程に進学して、研究に対するスタンスと面白さを教わり、研究職に就きたいと思うきっかけになった。

#### 修士卒で企業の研究所に就職

企業における研究で大切なことは、組織に利益をもたらすこと。最終ゴールを意識して、仲間と協力しながらチームとして研究を行うことが大切であり、一人で研究するよりも大きな仕事ができる。

#### 企業から博士課程に進学して

広島大学と研究協力協定が結ばれたことで、同大の博士課程を社会人卒で受験する機会が得られた。社会人でありながら大学院生として研究を続けることはとても大変で、実際はとてもキツイ毎日だった。ようやく迎えた学位授与式では、偶然に誕生日と重なったこともあり、感極まって涙が溢れる体験をした。

#### 企業研究者としての楽しみと満足感

企業研究者は、好きという理由だけでは研究はできない。また、決められた時間内に成果を出さなければならず、「頑張りました」だけでは通用しない。一方は、自分の研究が形になって世の中に出ていくことに、やりがいを感じる。

#### 私の就活体験

企業は様々な人材を求めているので、就職面接の模範解答はない。また、嘘をついて入社しても結果的にミスマッチとなる。大切なのは、自分の本質（幹）をしっかり持つことだ。

河口氏にとっての幹とは、一貫して『根性と行動力で研究を続けていきたい』だそうです。入社後は、企業にしかない楽しみが待っているため、今は大学院でしかできないことを楽しんでほしいと述べて、講演が締め括られました。

※ 質疑応答の内容はホームページでご覧ください。



## 長期インターンシップの中国語パンフレットあります

### Internship進修

传单写在中国 →

為同學們提供到企業・研究機構內進修的機會、在進修中體驗工作、擴大視野、并在進修的過程中了解到自己的專業如何更好的服務于社會。

ポスドクには3か月間の給与と交通費が支給されます（DCには交通費が支給されます）

遠隔地での研修には往復の旅費と宿泊費も支給されます（海外を含む）



◆ キャリア開発室の活動内容や最新情報、各種パンフレットや申請書等入手できます。

<http://www.kaiyodaicareer.com/> または、大学公式HPのリンクから →

※ 要望や質問等は、お気軽にキャリア開発室までご連絡ください。

博士人材のキャリア開発  
海洋関連人材キャリア開発プログラム